

# 令和6年度 研修・訓練・講座レポート



## 【10月】避難所運営訓練

宜野湾市や指定避難所である小学校地域の特性を理解し、「自助」・「共助」・「公助」の役割を明確にすることで、地域住民が主体性をもって避難所を開設、運営を行えるよう座学と実施訓練を交えた避難所運営訓練も実施しました。



## 【8～10月】職員向け研修

宜野湾市役所の職員向け防災研修と、管理職(部長級)向け研修を全3回実施しました。研修では、地域防災計画や災害リスク、災害発生時における各部局の対応業務について学びました。また、ワークショップを通じて職員同士の活発な意見交換が行われました。



## 【9月】資機材訓練

市内の6つの児童館には、災害時に活用できる簡易トイレや投光器などの資機材が備蓄されています。これらの使用方法を児童館職員に教えるため、新城児童館にて資機材訓練を実施しました。



## 【10月】防災リーダー養成講座 【11月】防災キャンプ



10/9より全6回の地域防災リーダー養成講座を実施し、約40名の受講生が防災への理解を深めました。11/16～17には、防災キャンプを実施し、実際に避難所となる小学校に宿泊を行いました。



## 【11月】県広域避難訓練 市地震・津波避難訓練

11/13に沖縄県広域地震避難訓練を、11/30には宜野湾市地震・津波避難訓練を実施しました。市内の保育園、自治会、企業など多くの方々に参加いただき、実際に避難ルートの確認などを行いました。



## 【12月】宜野湾市防災講演会

東日本大震災を経験、西日本豪雨では被災地に赴いた石川さまを講師にむかえ、防災講演会を開催しました。非日常である避難所において、どれだけ日常に近づけることが大事であるか等、現地で感じたありのままを参加者に伝え、とても有意義な時間となりました。



## 【2月】宜野湾市総合防災訓練



宜野湾市役所では、大規模災害発生時の初動対応について、各部局が迅速かつ確かな意思決定を行い災害対応力の向上を図るため、総合防災訓練を実施しました。市長、副市長をはじめ約40名の職員が各部局に付与される事案について、自部局のみで対応、他部署、他機関と連携して対応等検討し、対策本部にて各部長が情報を共有する一連の流れを確認しました。

令和6年度においても市民の皆さまには、地域防災行政にご協力いただきありがとうございました。いざというとき「自助」「共助」が大きな力となります。令和7年度も、様々な防災イベント等計画予定なので、皆さまのご参加お待ちしております。





特集

# 1年間の 防災 を振り返る

令和6年度宜野湾市の防災イベント・出来事等をまとめた総集編

問 防災危機管理室 ☎892-3151



**6月12～18日 断続的な大雨警報**  
宜野湾市内では令和6年6月中旬からの大雨によって各地で土砂崩れや、道路の浸水等の被害が発生しました。「避難情報」に関するガイドラインも参考に危険レベルに沿った行動をとるようにしましょう。



**4月3日 津波警報発令**  
この日に発令された津波警報は東日本大震災以来、13年ぶりの警報となりました。多くの市民の方が避難行動をとる中で様々な課題をみつけることができました。

令和6年度に  
発生した自然災害

## 災害時の炊き出しに関する協定締結

12/2、宜野湾市飲食業組合と、災害時の炊き出しに関する協定を結びました。賞味期限が近い食品を避難所等での炊き出しに利用することで、災害時の被災者支援とフードロス削減の一石二鳥を目指していきます。飲食業関連の団体と自治体が炊き出し協定を結ぶ事例は、まだ少ないため、いいモデルケースになればと考えています。



防災危機管理室は、災害時においても電源供給ができるPHEV車を新たに導入しました。また、非常用電源として、場所・使用環境・接続機器に制限されないポータブル蓄電池を赤道老人福祉センターへ納入しました。  
令和7年3月にはこの市民パークに防災倉庫を設置しました。

防災危機管理室  
防災設備の導入実績



表紙は、4月3日に掲揚された「津波フラッグ」  
「市報ぎのわん 8月号」にて防災特集を掲載しました。4月の津波警報が発令された日についてや、水害への備えについて、災害と自治会についてを4ページにかけて掲載しました。  
市報8月号はこちら

市報ぎのわん8月号  
「防災特集」掲載